

令和6年

総務委員会

6月25日

豊明市議会

総務委員会会議録

令和6年6月25日

午後1時00分 開会

午後1時10分 閉会

1. 出席委員

委員長	中堀 りゅういち	副委員長	岡島 ゆみこ
委員	郷右近 修	委員	林 ゆきひろ
委員	月岡 修一		
議長	毛 受 明 宏		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	加藤 健 治	議事課長	深草 広 治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島 慎 二	庶務担当係長	福田 悦 子

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正 典	副市長	土屋 正 典
行政経営部長	小串 真 美	市民生活部長	伊藤 正 弘
財政課長	浦 倫 彰	税務課長	堅田 直 寛

5. 傍聴議員

青木 けんじ	鈴木 智 和	浅井 たかお	こんどう のぶお
いとう ひろし	服部 龍 一	武谷 としお	三浦 桂 司
一色 美智子	堀内 ち ほ	清水 義 昭	ふじえ 真理子

6. 傍聴者

1名

午後 1 時開会

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ただいまより総務委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

市長。

○市長（小浮正典君） 皆様、お疲れさまでございます。

本会議休憩中に総務委員会、開催いただきまして、ありがとうございます。

本総務委員会に付託されました案件は、一般会計の補正予算案、1 議案でございます。
慎重に審査をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

続いて、議長より挨拶をお願いします。

議長。

○議長（毛受明宏議員） 皆さん、お疲れさまです。

総務委員会に付託されました議案は、50号の一般会計補正予算 3 号です。慎重審査、よろしくをお願いいたします。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議はございませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき、をお願いいたします。

（市長退席をなす）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第50号 令和 6 年度豊明市一般会計補正予算（第 3 号）についてのうち、

本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件につきまして、理事者の説明を求めます。

堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） それでは、議案第50号 令和6年度豊明市一般会計補正予算（第3号）のうち、税務課所管分について御説明させていただきますので、補正予算書の6、7ページをお願いいたします。

2款2項1目 税務総務費の右側説明欄、定額減税調整給付金を5,000万円増額するものでございます。

3月の1号補正時にも御説明させていただいておりますが、定額減税は、減税対象者1名に対し、所得税は3万円、住民税は1万円減税するものですが、この調整給付金は、減税額が所得税額や住民税額を上回り、引き切れなかった方へ、その不足額の給付を行うものでございます。1号補正時には、令和5年度のデータで推計して対象者数や未支給付見込額を抽出しましたが、令和6年6月3日を基準日として令和6年度のデータを抽出し確定しましたので、不足分をお願いするものです。

以上で説明を終わります。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 続いて、財政課所管部分について御説明申し上げます。

歳入について説明いたしますので、5ページをお願いいたします。

18款 繰入金の財政調整基金繰入金1億4,344万6,000円は、このたびの補正予算の一般財源でございます。

なお、定額減税調整給付金及び非課税世帯等臨時特別給付金は、最終的には物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の対象経費となる予定でございます。

以上で説明を終わります。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございました。

理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

郷右近委員。

○郷右近 修委員 5ページの、今、説明があった財政調整基金の繰入金についてですが、事前に説明があったこの1億4,000万円の繰入れを差し引いた残高についてお尋ねいたします。

22億円と聞いたかと思うんですが、これまで度々説明があった市の財政分野の考えからいうと、30億円というのを目安にしているというお話でした。年度の前半の時点で積極的な繰入れを行ってはいるんですが、残額が大分少ない数字になっているというのは、これまでの考え方に比べて何か変わった点というのはあるのでしょうか。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 答弁願います。

浦課長。

○財政課長（浦 倫彰君） 基本的には変わっておりません。趨勢を一応お伝えをいたしますと、ここが大きく変わっていませんよということが、方針が変わっていないことの1つ目でございますが、令和元年度の末時点で39億、2年度も39億、3年度が38億、4年度が34億で、昨年度末が36億台でございます。そういった推移で来ておりますので、決して方針が変わったわけではございません。

その上で2点目ですが、たった今、郷右近委員から、この予算を終わった後、22億ほどになることについてでございますが、昨年度も、おおよそ3号補正が終わった段階の残高は23億ほどでございますので、そういった点では昨年度と今年度について大きな乖離はございませんし、1号補正と今回の補正の大部分は、先ほど説明したような形で戻ってくるというか、国の国庫が最終的に当たることを見込んでおりますので、3点目は、そういった戻ってくる分ですとか従来の繰越金などで復元をしていくところも踏まえまると、基本的には、おおむね、ほかの基金との兼ね合いもありますが、おおむね方針を変えない運営が今年度も続けられているのかなというふうに考えております。

終わります。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 定額減税の調整給付金についてですけども、今回で確定したということなんですが、たしか3月の1号補正では1万人から1万5,000人ほどで積算をされてということだったと思いますけど、今回、5,000万追加ということで、これは何人増えて、どういうふうで積算されて、何人になったんですかね。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 積算としましては、1万2,000人ほどとなっております。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 3月のときには1万から1万5,000なんですけど、人数はそんなに

変わってないけど金額が違うっていう、そういうことなんですか。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 人数としては若干増えておりますけれども、やっぱり一番大きかったのが所得税の関係、こちらのほうが見込みより多くなったという形になっております。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 今、これ、人数確定してということなんですけど、今後のその給付のスケジュールっていうのは、当初と変わってないというふうでよろしいですか。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 給付のスケジュールについては、順調に行っておりまして、逆に、ちょっと早めに市民の皆様を確認書をお送りできるのかなと思っております。7月の大体上旬から中旬ぐらいには市民の皆様のお手元に届くという形で考えております。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 いろいろ給与明細の記載の義務化とか、いろいろ企業のほうでいろいろお話聞くんですけど、現状で市のほうに、そういった定額減税についての問合せとかそういったのっていうのは来ているんでしょうか。どういうものがありますか。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 堅田課長。

○税務課長（堅田直寛君） 既に問合せもかなり来ております。やはり自分の昨年の収入とか含めて、自分が対象になるのかとかそういった質問も多うございます。また、昨年度の収入とか今年度が対象になるのかとか、そういったことも踏まえてですけども、かなりの数が問合せがあります。

実際、もうコールセンターも開かしていただいておりますんで、そちらのほうにも問合せがかなり入ってるというふうに聞いております。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 議案第50号の総務所管部分ですけれども、定額減税の調整金ということで、対象の世帯数と対象の人数、そして、給付の金額確定したということによる必要な給付かなと思いますので賛成したいと思いますが、やはりこの定額減税についての問題点として、企業側のやはり負担、一人一人のその減税額を確認して案分しないといけないことだったりとか、給与明細の記載の義務化などによって負担が増加していると。また、今回のようなこういう調整給付金も、やはりかなり各自治体で負担が増えてるというふうに思っております。

一方で、これ、減税っていうのは一時的なものであって、家計支援の効果も非常に薄いんじゃないかなと。先日の新聞報道でも、そういうようなことがありました。国の施策ということで、これ、国のちょっと失敗だったんじゃないかなと私は思っているんですけども、ただ、既に企業のほうではいろいろ準備も進めて対応を進めているということと、今回、その調整金は引き切れなかった必要な方への給付だということでもありますので、支給漏れがないようにということ、そして、あまりにも複雑な仕組みになってますので、ミスなく確認しながら遂行していただくようにお願いします。

以上です。

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第50号のうち、本委員会所管部分については原案のとおり決することに御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） 御異議なしと認めます。よって、議案第50号のうち、本委員会所管部分については全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告書については私に一任願えますか。

（異議なしの声あり）

○総務委員長（中堀りゅういち議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出させていただきます。

慎重な御審査、お疲れさまでございました。これにて総務委員会を閉会いたします。

午後 1 時 1 0 分閉会